



えほんの紹介

『あかちゃんがやってきた』

角野栄子 作 はたこうしろう 絵 福音館書店



おかあさんがぼくに「赤ちゃんがうまれるの」とささやいた。「えっ!おとうと いもうと どっち?」おかあさんは「赤ちゃんはかわいいから どっちでも」と。おかあさんのおなかはどんどん大きくなり、ぼくがおなかにさわると、赤ちゃんはぐる、ぐるんと動いた。ぼくはびっくりした。それからまもなく赤ちゃんが生まれ、ぼくとはじめてのごたいめーん!「あつ、ふたり……」ぼくはふたりのおにいちゃんになったんだ。

“ぼく”がおにいちゃんになるまでの様子がとても楽しく描かれています。絵本の中の赤ちゃんグッズは見るだけでもほっこりします。

『かあさんのいす』

ラチベラ・B・ウィリアムズ 作・絵 佐野洋子 訳 あかね書房

わたしはかあさんとおばあちゃんの三人暮らしです。

去年家が火事になって、家具が全部焼けてしまいました。かあさんは食堂のウエートレスです。仕事から帰って来て足が痛い時、足を休ませるソファも大きな椅子ありません。

そこで、すごく大きなガラスのびんに、母さんがもらったチップや、わたしがお店をてつだった時のおこづかいや、おばあちゃんが安売りで得た時の小銭を入れて、こつこつとためています。びんがいっぱいになったら、すごくふわふわで、すごく大きくてきれいなバラのもようのついた、世界中で一番すてきな椅子を買うのです。

さて、夢にまでみた椅子はかえたのでしょうか?

ささやかな毎日がいとおしくなる絵本です。



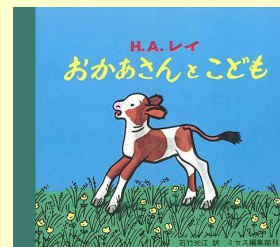
小さなおともだち Nちゃんの絵本のたのしみ方

『じぶんでひらく絵本 おかあさんとこども』

H. A. レイ 作 石竹光江 訳 文化出版局

この本はしかけ絵本です。ページをめくるといろいろな動物たちがでてきます。

Nちゃんのおばあちゃんが絵本の中の動物たちに「いいこ いいこ してあげようね」というと、Nちゃんは自分の頭をうれしそうにいいこいいことなでていました。いつもなでてもらっているのでしょうね。とてもほほえましかったです。

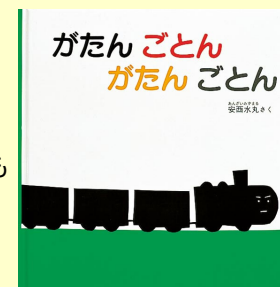


『がたんごとん がたんごとん』

安西水丸さく 福音館書店

今日はNちゃんが自分で棚から本を取り出してくれました。

読み手が「がたんごとん…」と読むと、Nちゃんも「がたんごとん…」と一緒に首を上下に振っています。とっても楽しそう。ママから読んでもらっている時もそうしているのかな。



海と川のいきものクイズ

枠の中から、海と川のいきものをそれぞれ六つずつ選んでください。あとにのこったのはなんでしょう?

1	アジ	2	メダカ	3	サメ
4	ドジョウ	5	リンゴ	6	タコ
7	イチゴ	8	マグロ	9	アユ
10	クジラ	11	イワナ	12	モモ
13	コイ	14	イワシ	15	フナ



答え 海(1・3・6・8・10・14) 川(2・4・9・11・13・15)

♪ 季節のわらわった
キャラクター メタマニ キュウ スエテ
ソレデモ トベルカ トンデミナ
オツペケ ペツポ ペツポツポ

かつてかえるは子どもたちにとって、身近な親しい生きものでした。今でもアマガエルを見つけると、こんな歌を歌ってはやし立てながら、自分もかえるになった気分で、ぴよんぴよんかえる跳びたくなります。